

出張報告書

令和 6年 6月 20日

会派名 民主市民ネット

会長 山田 庫司郎 様

出張者氏名 深津 晴江

下記のとおり出張したので報告します。

記

出張期間	令和 6年 6月 11日（金）～ 令和 6年 6月 12日（日）（ 2 日間）						
出張概要	①	月日	6月11日	市町村名	札幌市	会場	
		目的	地域公共交通研修会				
		テーマ	持続可能な地域公共交通にむけて				
	②	月日		市町村名		会場	
		目的					
		テーマ					
	③	月日		市町村名		会場	
		目的					
		テーマ					
	④	月日		市町村名		会場	
		目的					
		テーマ					
所見	別紙のとおり						
備考							

※所見については、別紙（任意様式）で作成して下さい。

テーマ：持続可能な地域公共交通に向けて

所 感：地域交通法第4条の改正が行われてきたことを学んだ。そして、2020年改正では、地域旅客運送サービスの持続可能な提供に確保に関する努力義務となったことを踏まえ、網走市及び周辺自治体、北海道、本州とのつながりを強化していく必要性を学んだ。密接な連携を図り網走市としての役割を果たせるようにしていきたい。他地方自治体議員との情報交換により、地域の維持・発展のためには地域公共交通の持続が重要であることの理解を深めた。

出張報告書

令和 6年 8月 30日

会派名 民主市民ネット

会長 山田 庫司郎 様

出張者氏名 平賀貴幸

下記のとおり出張したので報告します。

記

出張期間	令和 6年 8月 18日(日) ~ 令和 6年 8月 19日(月) [2日間]						
出張概要	①	月日	8月19日	市町村名	札幌市	会場	UAゼンセン北海道jほか
		目的	労働行政に関する聞き取り調査と意見交換				
		テーマ	UAゼンセン砂長支部長 連合北海道 和田事務局長 徳永エリ参議院議員事務所 岡内秘書 などと労働行政を中心に聞き取り調査と意見交換を実施				
	②	月日		市町村名		会場	
		目的					
		テーマ					
	③	月日		市町村名		会場	
		目的					
		テーマ					
	④	月日		市町村名		会場	
		目的					
		テーマ					
所見	別紙のとおり						
備考							

※所見については、別紙(任意様式)で作成して下さい。

視察調査実施期間 令和6年8月18日～8月19日まで
行政調査視察実施先 U Aゼンセン北海道 連合北海道 徳永エリ参議院議員事務所

目的

労働組合を含めた関係個所を訪問し、労働行政に関する意見交換及び情報交換を実施し見識を深める。

調査概要

- ・ U Aゼンセン北海道砂長支部長ほか
小売り流通業界を中心とする日本最大の民間労働組合における取り組みについて及び重点的に取り組んでいるカスハラ対策などを中心に情報交換と意見交換を実施
- ・ 連合北海道 和田英浩事務局長ほか
北海道の労働組合を統括し労働運動をリードする連合北海島の和田事務局長などと北海道における労働行政の課題、特に最低賃金UPの取り組みを中心に意見交換。また、カスタマーハラスメント対策についても情報交換を実施する。
- ・ 徳永エリ参議院議員事務所 岡内秘書
労働行政及びカスタマーハラスメント対策を中心に国での取組の方向性について意見交換及び情報交換を行う。

調査結果

カスタマーハラスメント対策については進展が図られており、北海道において独自の条例制定に向けた取り組みが進む状況などが理解できた。民間事業者では自社からカスタマーハラスメントの加害者を出さない取り組みが広がりを見せており、労働組合もそれを後押ししている状況があることが分かった。

結論

網走市においてもカスタマーハラスメント対策を強力に進めていく必要がある。まずは網走市役所内における職員が受けるハラスメント対策の強化を求めながら、商工会議所などを通じて市内の企業などがカスタマーハラスメントの加害者を社員などから出さない取り組みを進めるように働きかけを続けたい。

出張報告書

令和6年10月3日

会派名 民主市民ネット
会長 山田 庫司郎 様

出張者氏名 山田庫司郎
金兵智則
平賀貴幸
深津晴江

下記のとおり出張したので報告します。

記

出張期間	令和6年10月3日（木）～ 令和6年10月3日（木）〔1日間〕						
出張概要	①	月日	10月3日	市町村名	網走市	会場	議会委員会室
		目的	道東6市議員研修会				
		テーマ	1：あばしり電力について 2：移動型医療サービスについて				
	②	月日		市町村名		会場	
		目的					
		テーマ					
	③	月日		市町村名		会場	
		目的					
		テーマ					
所見	別紙のとおり						
備考							

※所見については、別紙（任意様式）で作成して下さい。

令和6年度 民主市民ネット政務活動費

山田庫司郎、平賀貴幸、金兵智則、深津晴江

2024年度 道東6市市議会議員研修会

所 感：年一度の道東6市（帯広市・釧路市・北見市・紋別市・根室市・網走市）の民主系市議会議員の研修会が、網走市議会議員が担当し網走市において開催された。山田会長からの挨拶後、来賓として網走市水谷市長からの挨拶を受けた。

研修内容として2つあり、それぞれ網走市担当者より説明を受けた。一つは、「あばしり電力の取組について」、二つ目は「網走市移動型医療サービスについて」であった。網走市で行われている事業ではあるが、詳細な説明を聞き学びを深めることができた。また、担当部署の調整により移動型医療サービス車両の見学を行うことができ、他市議会議員は興味深く運行の状況等を確認することができた。

意見交換会では、それぞれの市の地域課題を出し合い、意見交換をすることができ有意義な研修会となった。来年度は、釧路市で開催予定である。

出張報告書

令和 6年 12月 20日

会派名 民主市民ネット

会長 山田 庫司郎 様

出張者氏名 深津 晴江

下記のとおり出張したので報告します。

記

出張期間	令和 6年 12月 6日（金）～ 令和 6年 12月 8日（日）〔 3 日間〕						
出張概要	①	月日	12月7日	市町村名	東京都	会場	リファレンス西新宿大京ビル
		目的	新人議員研修全国キャラバン				
		テーマ	議員活動新人研修・1、研修2				
	②	月日		市町村名		会場	
		目的					
		テーマ					
	③	月日		市町村名		会場	
		目的					
		テーマ					
	④	月日		市町村名		会場	
		目的					
		テーマ					
所見	別紙のとおり						
備考							

※所見については、別紙（任意様式）で作成して下さい。

研修名：新人議員研修全国キャラバン

所 感：セミナーで多い質問として、何から勉強したらいいか、誰に教えてもらえばいいか、職員は議員の存在はどのように考えているか、提案してもすぐに動いてくれない、お金がないと言われる、一般質問しても執行部にはぐらかされるなどが挙げられた。まさしく私自身も悩んでいる内容であった。議員となり1年半年が経過し、日々議員活動をしているが、自分の活動を客観的に俯瞰してみたいと考えこの研修を受講した。

1期目にやってほしいこととして、基本的なことは、首長は提案と執行に携わり、議員は対話と討論、調査そして意思決定に携わる、本来の存在意義を自己認識することだと説明があった。役所の外の人ではなく、行政の意思決定を担う行政の中の人と再確認することができた。

議員が役所（行政）の意思決定に影響を及ぼすための武器は、知識（知恵）と情報と仲間である。キャラクターも重要とのことだった。職員は制度が現状に即していない場合も不都合なことは言わない、そのため、新たな制度や政策導入の提案する場合は、既存制度の学習は必須であることも再確認できた。

予算のポイント、決算カードの見方も学習でき、網走市の現状を認識することができた。

「役所」の体質として、①無謬主義 ②縦割り ③時間がかかる が挙げられた。どれもうなずけることばかりで役所の体質は全国共通のことであることを把握できた。事業展開のスピード感がなく、「やっています。やっています。」と消極的な答弁が多く、戸惑うばかりの議員活動であった。役所の体質を理解したうえで、関わっていくことが大切だと考えた。

議員は、行政の「課題」を見つけることが最大の仕事事実と理想（あるべき姿）のギャップ（問題）を見出し、あるべき姿にするためには「どうするか」を設定することである。議会主体の政策は、住民起点のマネジメントサイクルの中で生まれるものである。政策実現するためには、時間がかかるものと認識して、メリハリをつけて一般質問等をする必要性を学ぶことができた。議員の仕事は住民全体の「福祉の増進」に関して成果を出すことである。そのために、情報提供（共有）、課題の見える化（理解）、政策提案（実現）と、焦らずに、階段を昇るイメージで進めていくことが重要であることが学べたため、今後の議員活動に活かしていきたい。

出張報告書

令和 7年 3月 30日

会派名 民主市民ネット

会長 山田庫司郎 様

出張者氏名 金兵智則

下記のとおり出張したので報告します。

記

出張期間	令和 7年 3月 29日(土) ~ 令和 7年 3月 29日(日) [1 日間]						
出張概要	①	月日	3月29日	市町村名	苫小牧市	会場	でじるみ苫小牧
		目的	視察及び意見交換				
		テーマ	就労継続支援B型事業所「でじるみ苫小牧」の現地視察・意見交換				
	②	月日		市町村名		会場	
		目的					
		テーマ					
	③	月日		市町村名		会場	
		目的					
		テーマ					
	④	月日		市町村名		会場	
		目的					
		テーマ					
所見	別紙のとおり						
備考							

※所見については、別紙(任意様式)で作成して下さい。

調査概要 就労継続支援B型事業所「でじるみ苦小牧」の現地視察・意見交換

日 時 令和7年3月29日(土) 13:30~15:00

会 場 エンターテインメントアカデミー でじるみ苦小牧

内容 でじるみ苦小牧を運営されている北海道障がい者共生協会の代表理事で施設長の森夕希子様にご対応いただき、活動状況を拝見させていただくとともに、運営状況や様々な課題などについて意見交換を致しました。でじるみ苦小牧は月~土曜日に営業されており、一日の定員は20名で、現在は40名ほどが通われており、約9割の方が精神障がいをお持ちの方で、その他に知的、身体の方という割合だそうです。また、年代も10~50代と幅広い年代の方がいらっしゃり、それをスタッフ8名で対応されているとの事でした。課題の一つとしては、障がい特性もあり、天候や環境に影響されることが多く、出勤率が8割弱と低いことが挙げられるそうです。このでじるみ苦小牧は、B型就労支援事務所で、コンピューターなどが好き、得意な人向けに動画作成やキャラクターなどのデザイン、それらを活用したイベントへの参加などを行っております。通われている方々はいわゆるひきこもりと言われるような方々も多く、社会への進出といった面でも大きく貢献をされており、また、家族からも感謝の声が多く聞かれるという事も伺ってまいりました。大きな課題としては初期投資や施設の基準が大変厳しいこと。一般企業と違い、全ての準備が整ってから広報活動を行わなければならないなど、福祉分野へ進出する際の弊害が多くあり、これは地方自治体では解決できるような問題ではなく、国において検討していただかなければならない問題でありました。ただ、これからの可能性も多くみられた視察となりました。



出張報告書

令和 7年 3月 10日

会派名 民主市民ネット

会長 山田 庫司郎 様

出張者氏名 平賀貴幸

下記のとおり出張したので報告します。

記

出張期間	令和 6年 9月 9日(月) ～ 令和 6年 9月 10日(火) [2日間]						
出張概要	①	月日	2月26日	市町村名	北見市	会場	株式会社ウエザーコック
		目的	精密模型作成技術の応用と行政での活用				
		テーマ	株式会社ウエザーコック 山崎社長より事業の状況を伺いながら、行政での活用について意見交換				
	②	月日		市町村名		会場	
		目的					
		テーマ					
	③	月日		市町村名		会場	
		目的					
		テーマ					
	④	月日		市町村名		会場	
		目的					
		テーマ					
所見	別紙のとおり						
備考							

※所見については、別紙(任意様式)で作成して下さい。

視察調査実施期間 令和6年2月25日～2月26日まで
行政調査視察実施先 ①株式会社ウェザーコック 山崎記敬社長
②UAゼンセン北海道 運営評議会

目的

- ①精密模型の制作を中心に事業展開している株式会社ウェザーコックを前社長から事業承継で譲り受けた網走市出身の山崎社長から事業承継の実際及び精密模型を中心とした事業と行政との関係などについて聞き取り調査
- ②民間最大の労働組合であるUAゼンセン北海道が開催する運営評議会に出席し、網走市における市政の状況を伝えながら働く視点からの意見交換を実施

調査概要

- ①ウェザーコックの事業承継に至る経緯や状況を聞き取りながら、高い技術力を活かした今後の可能性について聞き取り調査と意見交換を行った。
- ②日本最大の労働組合であるUAゼンセンの北海道支部の取り組みについて情報を共有しながら意思決定を行う機関である運営評議会に出席させていただき、網走市における関連する取り組みを報告しながら、意見交換や情報交換を行った。

調査結果

- ①事業承継を受ける前は個人事業の延長的に営業してきた同社であるが、技術力には高いものがあつた。実際に事業承継後に経営再建を進めながら職員の処遇改善を行うと共に人材募集も進めている。行政に納品する精密模型の制作を得意としている企業ではあるが、公共施設の建設が減少する中で受注量には限界があり、高い技術力を活かした新分野での事業展開を進める必要がある。
- ②網走市におけるカスタマーハラスメント対策は一定の成果を上げている。物価高騰対策としての地域応援商品券の配布は評価が高く、各地での取組を促す必要性が共有されることとなった。手取りを増やす政策を進めて欲しいという声は強く、改めてその必要性について感じる機会となった。

結論

- ①ウェザーコックについては受注先を広げる取り組みも進んでおり、網走市においても活用する機会がないか引き続き情報交換、意見交換を続けていくこととした。
- ②カスタマーハラスメント対策については引き続き取り組みを進める必要があることが改めて共有された。物価高騰対策は国の交付金を活用しながら各自治体で実施されているがふるさと納税を原資に上乗せして市民に配布を進めることの有効性は網走市の外で働く人たちの反応からも読み取ることができる。物価高騰と共に社会保険料の負担増などが重なり、手取りを増やしてほしいという労働者の声は増大している。一方で、国が財源を措置しないと地方

財政に大きな影響が及び、市民の暮らしにも影響が及ぶことはなかなか伝わりにくい状況もあり、このあたりのバランスをとった政策の推進や、情報共有が必要な状況にあることは確かだと感じた。

出張報告書

令和6年11月8日

会派名 民主市民ネット
会長 山田 庫司郎 様

出張者氏名 山田庫司郎
金兵智則

下記のとおり出張したので報告します。

記

出張期間	令和6年11月4日（月） ～ 令和6年11月5日（火） （2日間）						
出張概要	①	月日	11月4日	市町村名	札幌	会場	ポールスター札幌
		目的	民主議員ネット北海道 秋季政策研修会				
		テーマ	①こども未来戦略と全世代型社会保障に向けて ②ハラスメント予防に向けて				
	②	月日	11月5日	市町村名	札幌	会場	ポールスター札幌
		目的	平和議連総会・研修会				
		テーマ	泊原発と寿都・神恵内での地層処分の危険性について				
	③	月日		市町村名		会場	
		目的					
		テーマ					
	④	月日		市町村名		会場	
		目的					
		テーマ					
所見	別紙のとおり						
備考							

※所見については、別紙（任意様式）で作成して下さい。

会派民主市民ネット 山田庫司郎・金兵智則

調査概要 民主議員ネット北海道 総会・秋季政策研修会、平和議連 総会・研修会

日 時 令和6年11月4日（月）～11月5日（火）

会 場 札幌市（ポールスター札幌）

内 容 ①こども未来戦略と全世代型社会保障について

内閣官房全世代型社会保障構築本部事務局参事官の原田朋弘様から社会保障制度の変遷と社会情勢をまず説明いただき、政府で議論をされた全世代型社会保障構築本部の内容をお話しいただきました。それから、こども未来戦略の詳細と全世代型社会保障構築を目指す改革の方向性をご説明いただきました。

②ハラスメント予防に向けて

弁護士金子春菜先生にお越しいただきハラスメントに関して、様々な例を踏まえてお話しをいただきました。金子先生は立憲民主党のハラスメント防止対策ハンドブックの作成や組織確立にもご尽力されたそうで、それをテキストとして詳細説明を受けました。

③泊原発と寿都・神恵内での地層処分の危険性について

北海道大学名誉教授の小野有五先生から能登半島地震のメカニズムや状況と寿都・神恵内の活断層の状況、泊原発周辺の活断層の状況をお話しいただきました。地層処分の説明を受け、今後の方向性についてのお考えを伺いました。